



小松の松東中 文化祭で披露

「勧進帳」 魅せた

小松市松東中学校の生徒が六日、県こまつ芸術劇場つららで歌舞伎「勧進帳」を演じ、迫力ある立ち回りで約六百人の観客をわかせた。全校生徒九十二人のうち、三年生全員と一部の二年生計四十三人が舞台に登場。残りの生徒も小道具など裏方を担当し、教職員二十人や保護者も一緒に舞台を作り上げた。(白井春菜)

弁慶役の西口諒司君「で成功させることが(三年)と富樫役の塚できた」と充実した表本陸君(同)の緊迫し情。衣装係として弁慶の掛け合いや、義経役のマークなどを担当の太田理香子さん(同)し、はやし太鼓にも挑のこまやかな演技など戦した田中奈津美さん見せ場ごとに大きな拍手(二年)は「裏方でも手や「よつご両人」の緊張した。みんなと協力できていい経験になった」と話していた。

大役を演じきった西口君は「百点満点で百五十点の出来。人数が少ない学校なので、先市内の中学校十校が持生や家族の支えのおかげで演じている。同校は文化祭の出し物の一つとして、六月後半から本格的に準備を進めていた。

弁慶が勧進帳を読み上げる場面を演じる生徒たち。県こまつ芸術劇場つららで

進めていた。